

総額 80億1900万円

予算内容をより深く専門的に議論するために各常任委員会で審査を行いました。

総務民生常任委員会報告

委員長 木戸 俊治

本委員会に付託されました、議案第27号「平成27年度能勢町一般会計予算」について、3月17日および19日に委員会を開催し、所管の総務部、健康福祉部、学校再編室等の予算内容を審議いたしました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 「自立したふるさとづくりのための付加価値創造事業」について、どういうことをもって活性化につなげるのか。

答 個々の研究会の自立が、最終目標である。平成27年度に取り組みをさらに深めるため、自立に向けた活動を支援していきたい。

問 常備消防のメリットおよび課題、住民への広報、消防団との連携、今後のあり方について。

答 年間2億円投入するメリットを広報していきたい。自治の組織、消防団の組織、町の対策本部、常備消防がきっちり連携して取り組んでいきたい。

問 社会福祉協議会への助成について。

答 社会福祉協議会助成は、予算計上方法の見直し、事業の精査も含めて、来年度以降補助金のあり方を見直すこととして協議を終えたところである。

問 子ども医療費助成において、新たな取り組みを考えているのか。

答 大阪府の今回の拡充は福祉医療のセーフティネットであり、所得制限の引き下げも同時になされる。本町においては、子育て支援の観点から対象となる方に影響がないように予算計上した。

問 通学路バイパス道路工事の進捗について。

答 開校までに、少なくとも歩道部分は完成させ、通学の安全を確保するよう進めている。

問 ふるさと納税について、能勢町が力を入れていることのアピールをどう示してゆくのか。

答 ふるさと納税としての寄附のあり方、町として押し出す部分、事業者が利用する部分をアピールしていく。付加価値がつくのであれば相乗効果も期待できる。納税者との関係づくりもうたっている。くりかえし、能勢町を応援してもらえるように努めたい。能勢町ならではの、能勢町でしか、というものに取り組んでいきたい。

問 保育所の現況、新制度に伴う私立幼稚園に係る予算について。

答 町立保育所は、新制度に伴い、保育内容を充実させ、地域と一体となって能勢を愛する子どもを育てていきたい。私立幼稚園に係る予算については、保護者の負担が大きく変わらないように保護者給付、運営補助、施設型給付を計上している。

問 住民健康診査受診率向上に向けての取り組みについて。

答 お知らせする方法を改善した結果、子宮頸がんが2倍、乳がんが1.5倍になり若い世代の受診が増えた。受け付け方法についても申し込みしやすい環境を整えたい。

問 学校再編全体のとりまとめ部署として、学校再編室をもっと強化すべきではないか。

答 学校再編室を機能強化して予算を一括管理するという意見も理解するが、今以上に関係部署等と連携し、全体の進捗状況を把握のうえ適切な判断をしていきたい。

この後、質疑を終結し、討論はなく採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。